Brad Mehldau: Various Transcripts

Song Recording

1.Alfie(solo) Live In Tokyo

2.Bewitched The Art Of The Trio Vol. 3

3.Blame It On My Youth The Art Of The Trio Vol.1
4.The Days Of Wine And Roses(with M Turner) In This World

5.Dedicated To You(with P Bernstein) Heart's Content

6. Exit Music The Art Of The Trio Vol. 4

7.Georgia On my Mind(with C Lloyd) The Water Is Wide

8.Moon River

The Art Of The TrioVol.2

9.Paranoid Android Largo

10.Still Crazy After All These Years Anything Goes11. Young And Foolish(with M Brecker) American Dreams



ブラッド・メルドーの東京・すみ だトリフォニーホールでのソロ・コ ンサートから、バート・バカラック の「アルフィー」である。ライヴ録音

ALFIE

バカラックの名曲をコンチェルトを弾くように響かせている

なので、残響や聴衆の息づかい、そ して時おりメルドーの鼻歌も聞こえ てくる(キース・ジャレットほどでは ないけれど)。「アルフィー」は、TV ドラマ『協奏曲』でも使われている が、この演奏もバックにストリング スでも鳴っていればそのままピア ノ・コンチェルトの緩徐楽章として 通用しそうな雰囲気を持っている。

演奏は、メルドーの左手が静かに 押さえる9度で始まる。演奏全体に わたって、5度重ねの柔らかい9th が響いている。メルドーの不思議な 左手が繰り出す響きの魔術。 下の3 小節目の左手は、理論的にはロー・

インターヴァルの限界を超えている が、とてもいい音がする。風一回の 前半は緩急自在のテンポ感でルバー トし、Eから最後までは、ゆったり とした4ビートで進行する。ペダル と鍵盤の適確なホールディング([] の7小節目左手など)で、デリケート な表現の極致を見せつける。

「から は特に広い音域を駆使していてフ ル・オーケストラの響きがする。特 に最後の5小節は収まりのいい完璧 なシークエンスで、とても即興とは 思えないけれど、即興じゃなければ こんなに音がきらめくはずもない。 楽譜を一見しただけで、さまざまな



「ライヴ・イン・トーキョー」 ブラッド・メルドー ワーナーミュージック WPCR-11964~5

困難(指が届かない、どっちの手で 取ればいいのやら……etc)に溢れて いるけれど、鼻歌でも物しつつ、悠 々とメルドーぶりを楽しんでみてほ 〈採譜&解説:鈴木一司〉 Live









e

ALFIE played by Brad Mehldau(p)



PIANO SCORE

BOTHERED AND BEWILDERED played by BRAD MEHLDAU

20ページからのインタヴューを楽し んでいただいたブラッド・メルドー・ ファンの皆さん、お待たせしました。 ここでは彼の最新アルバムからの演奏 をコピー譜として掲載しよう。このブ ラッド・メルドーの[アート・オブ・ ザ・トリオ」シリーズ第3作目はオリ ジナルとカヴァーが5曲ずつという構 戚になっている。カヴァーの方では、 ジャズのスタンダード・ナンバーと共 三に、レディオヘッドの「エグジット・ ミュージック(フォー・ア・フィルム)」 などを取り上げているところがいかに

も新世代のジャズ・ピアニストという 感じだが、さて、ここに掲載した「ビ ウィッチド(魅惑されて)」はリチャー ド・ロジャーズ作曲のミュージカル 「Pal Joey」の中の曲。フランク・シナ トラやエラ・フィッツジェラルド、そ れからリンダ・ロンシュタットまで、 ヴォーカリストの名唱の多いラヴ・バ ラッドだ。

曲はAABA32小節の定番形式で、 譜面の[A][B]の部分がテーマの1コ ーラス部分。ここでは左手のコード を、ダイナミクスを抑え目にして弾

クに挑 き、右手でメロディをとつとつとした 感じで弾いている。ちょっとセロニア ス・モンクを繊細にしたような、間を 生かした感じのプレイだ。基本的に原

曲に沿ったラインで弾いているが、 [A]の7、8小節目などセクションの変 わり目の裏コードによるフレイズがス パイスになっている。 [C]からアドリブ・パートに入る。

気分的にはテーマの雰囲気をそのまま 維持し[C]の後半くらいから早いパッ セージを弾いているが、何度かででく るA7からDmにかけてのフレイズは

ザ・トリオVol.3』 ブラッド・メルドー ワーナーミュージック・ジャパン WPCR-2098 9月25日発売

いろいろと応用できそうなので練習し てみよう。

[E]の1小節目は本来トニックのC に解決して終わるはずだが、偽終止と いうテクニックでE7を置いているの で終止が引き延ばされた形になってい る。よく使われるので覚えておくとよ いだろう。

〈採譜:河本芳子/解説:北原英司〉



BEWITCHED [ビウィッチド(魅惑されて)] played by BRAD MEHLDAU



PIANO SCORE



●ブレイム・イット・オン・マイ・ユース

Blame It On My Youth

T R I OK

『ART OF THE TRIO Vol. 1』 weaジャパン (Warner Bros.) WPCR-971

本年度のグラミー賞ベスト・ソロ・パフォーマンス部門にノミネートされ、 21世紀を担うピアニストとして、今注目度NO.1の"ブラメ"ことブラッド・メルドー。 ここではそのノミネート曲となった「ブレイム・イット・オン・マイ・ユース」の譜面を、 ピアニストの守屋純子女史の解説とともにお届けしよう。 ブラメの美しいタッチに、ぜひとも挑戦してみてほしい。

採譜&解説=守屋純子

イキの良い新人が次々出現するアメリカのジャズ界にあっても、ブラッドはちょっと別格の抜きん出た存在と言われていますが、今回のバラッドはそれを証明するような演奏です。大体CDの1曲目にこんなヴェリー・スローのバラッドを持ってくること自体、相当な自信の現われでしょう。完成度の高い内容で、若手にありがちな "荒削りだけど勢いがあってよろしい"といった "若気の至り"的なところはまったくみられません。

さて、この譜面はあくまで近似値 と考えてください。彼は非常に大き くりズムにのっていて1拍1拍をと らえるタイミングも伸縮自在なの で、きっちり割り切った書き方は不 可能なのです。便宜上16分音符を基 本に書きましたが、彼が16分を中心にのっているということではありません。こういうフレキシブルな演奏を可能にしているのは、ベースやドラムの力によるところも大きいので、トリオのインタープレイにも注目してください。

演奏は非常にシンプルで、両手とも削りとれるだけ削りとったような無駄のないものです。普通はついいろいろ弾きすぎ、詰め込みすぎてしまいがちですが、こんな休符だらけの演奏でピーンと張り詰めた緊張感を保てるのは、彼ならでは。"間合いの人切さ"を考えさせられます。

構成としてはルバートに続いて1 コーラス目はテーマ、2コーラス目 はアドリブで、2コーラス目の最後 の4小節でテーマを提示して終わり ます。 2コーラス目でテーマをどう リハーモナイズしているか1コーラ ス目と比べてみてください。 "歌う" ことに専念している彼は、特にトリッキーなことはしていませんが、随 所にブラッドらしい独特なフレイズ が顔を出します。ここではいくつか 例をあげるにとどめますが、バラッド・プレイのヒントになる点はいろ いろありそうです。

(以下の丸数字は譜面内の数字と対応しています)

- ① 54小節の4拍目は本来Bb7のところを半音上げたB7のスケールを使って効果を出しています。
- ② 61小節の1拍目のように、本来のマイナーのコードに行く前に 瞬间ルートのメジャー7thフレイズをいれるという方法もよく使われていま

す。

- ③ 64小節では本来の7thコードに 半音上のメジャー7thからおりてい ます。
- ④ 69小節の1拍目は、Fm7をいきなりF Mai7で代理しています。
- ⑤ 68-71小節にかけてだんだん終息 に向かうとみせて、72小節で突如現 われるテンション感溢れるスケール の出し方も見事です。

彼は特にピアノのタッチがきれいで、強弱のつけ方にも全神経が行きわたっているので、一見何でもないフレイズもイキイキと輝いています。このあたりも大いに参考にしてください。弱元27歳にして、全体に漂う静謐感と孤高の雰囲気。"ブラメ様"からしばらくは目が離せなくなりそうです。





ISHING, INC. INC.

O Vol. 1]

WPCR-971

=守屋純子

hコードに おりてい

m7をいき す。 んだん終息 で突如現 スケール

がきがもている (大) がきいまてに全がまるいし体ブ

離せなく

中川この



68

http://

CD発 4月 1日 4月 2日 4月 4日 7月31日 間い合せ

重厚な

溢れる



今月は気鋭のテナー、マーク・ター ナーの新譜『イン・ディス・ワールド』 から、おなじみの「酒とバラの日々」を お届けしよう。原曲はヘンリー・マン シーニによる同名映画の主題歌だが、

DAYS OF WINE & ROSES

ブラッド・メルドー(p)の名演

映画の内容はアルコール中毒になった 若い夫婦の悲惨な生活を描いたものら しい。甘美なメロディのイメージから はちょっと意外。

さて、マーク・ターナー版の「酒バ ラ」はかなりアップ・テンポの4ビー トで、展開にもひねりが加えられてい る。イントロはベースが半音ずつ上行 していってAbに落ちつくが、突然転 調して、AのテーマからキーはFにな る。テーマのメロディはあまり崩さな いで吹いているが、本来 A のメロデ ィがリピートされるはずの **B** から またさりげなく短3度上のAbに転調 しているのだ。さらに、イントロと同

じ回のインタールードを経て国から のアドリブ・パートでまたFに戻って ……というふずに繰り返ぎれている。 ソロは D の3小節目までマークのテ ナー(ここでは実音で記譜されている) で、そのままいくかと思わせていきな りプラッド・メルドーのピアノへと引 き継がれる。プラッドのフレイジング はスピード感にあふれているが、途中 Fの12小節目あたりから回の2小節目 ほとにかけてリズム的にアウトする感 じがスリリング。このへんのノリは譜 面にはしづらいところだ。コードに沿 ったシンプルなフレイズから始まっ て、だんだん複雑なフレイズに展開し

デーミュージック・ジャバン SR:2184

て盛り上げていくところにも要注目。 〈採譜:河本芳子、解説:北原英司〉



DAYS OF WINE AND ROSES 酒山下の日々」







DAYS OF WINE AND ROSESI酒というの日々」

162



る者

とせ

要求

、す

でし

値は

3 b.

管楽

C, A です

って

٦. 古葉」

1曲 を日 選ん

めて tB♭ と段

ズの

持っ それ 対処 覚え G.>

演奏 演奏 って

さら 耳と 奏し くて 必要

CD

歌心溢れる実力派のギタリストとして 脚光を浴びているピーター・バーンスタ インの『HEART'S CONTENT』(輸入 盤)から「デディケイティッド・トゥ・ユ - |を取り上げ、バーンスタインのギタ ーと、共演するブラッド・メルドーのピ

DEDICATED TO YOU

-ンスタイン(g)& ブラッド・メルドー(p)の名演 「デディケイティッド・トウ・ユー」

巧みな転調、斬新なフレイジングなど聴きどころ満載!

アノを採譜した。この曲は『ジョン・コ ルトレーン&ジョニー・ハートマン*な どでも取り上げられている、AABA32 小節形式のスタンダード曲だ。スコアの |A|とB|がテーマで、ギターがメロディ を弾いている。この後の心からアドリ ブ・パートで、ギターが16小節アドリ ブをとった後、[D]からピアノ・ソロ(続 いてベースのラリー・グレナディアがソ 口を取っているがここは割愛)、最後に ギターがテーマの後半部分を演奏しエン ディングに向かっている。この曲のキー はB^bで、サビでDとFに転調し再びB^b に戻るという構成だが、ここではアドリ ブに入るCIの部分でいきなりDbに転調 し、テーマに戻った後の頃からさらに Cに転調している。

では、ギターのアドリブ・ソロにおい

ていくつかポイントになるところ取り上 げてみよう。Cの5小節目のAb7でのオ ルタード・テンションを絡めて音を跳躍 させたフレイジングは斬新。10小節目 のC7や13小節目のA^b7の32音符のフレ イズも同様だが、流れ的に自然で心地良 い。またエンディングのG7のアウト・ フレイズはコン・ディミを使用したもの だが絶妙のバランスになっている。バー ンスタインの演奏スタイルはまさにジャ ズ・ギターのエッセンスが疑縮されたも ので、シンプルかつメロディアスなフレ イジング、空間を巧みに操るリズミッ ク・アプローチ、ジョン・スコフィール ドを思わせるアウト感覚、これらが見事 に融合され彼の個性となっている。

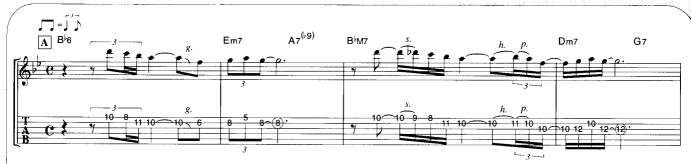
一方ピアノのメルドーも、囗の3、4 小節目に見られる、右手のコードの中に

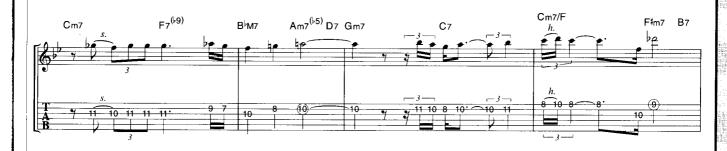


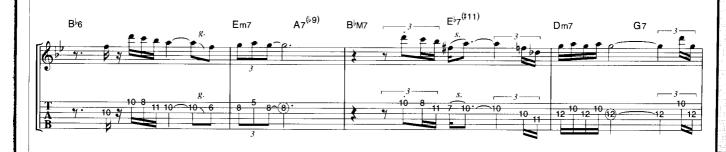
[HEART'S CONTENT] ー・バーンスタイン+3 Crise Cross Jazz 1233

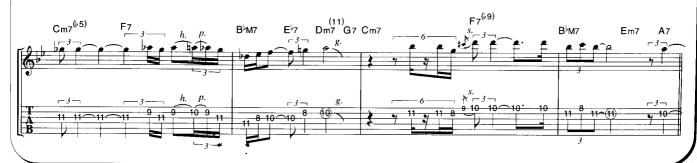
左手も加えた独特のヴォイシング、 11、12小節目のような浮游感あるフレ イジング、またバックのリズムを無化す るようなテンション感のある絶妙なノリ など、研ぎ澄まされた才気煥発な音使い を聴かせている。

〈採譜&解説:鈴木賢治(g)、河本芳子(p)〉









DEDICATED TO YOU : Words & Music by Sammy Cahn, Saul Chaplin, Hy Zaret © 1935 by CHAPPELL & CO., LTD.
All rights reserved. Used by permission.
Print rights for Japan assigned to YAMAHA MUSIC FOUNDATION

(ジャズライフ12月号は11月14日発売です)

DEDICATED TO YOU played by PETER BERNSTEIN (9) & BRAD MEHLDAU (P)







DEDICATED TO YOU played by PETER BERNSTEIN (9) & BRAD MEHLDAU (P)



今月は発売されたばかりのブラッド・ メルドー・トリオの"ヴィレッジ・ヴァ ンガード"でのライヴを収録したアルバ ム『アート・オブ・ザ・トリオVol.4』か ら「エグジット・ミュージック(フォー・ ア・フィルム)」のピアノ譜をお届けしよ

.000

/本体 ロン か、

きもれ

EXIT MUSIC (FOR A FILM)

ブラッド・メルドー(p)の名演 「エグジット・ミュージック(フォー ア・フィルム)」

(ラッドの美しいメロディを

この曲はイギリスのロック・パン ド、レディオヘッドの曲で、トム・e・ ヨークのちょっとミゼラブルではかなげ なヴォーカルが印象的な、美しい"泣き" のメロディだ。メルドーはこの曲を前作 の『Vol.3』でも取り上げていたので、ご 存知の方も多いだろう。続けて取り上げ るとはよほどのお気に入りらしい(ちな みに「憧れ」も再収録されている)。前作 のスタジオ録音では短めの演奏だった が、今回はライヴ盤ということで、熱の こもった演奏をたっぷり聞かせている。

さて、譜面を見てみよう。イントロ4 小節の後、AからDまでがテーマの部分 で、Aの9小節目からドラムのライドが 入り、圓からベースも入ってくる。た だ、テーマ部分のピアノ譜だけ見るとジ

ヤズの譜面には見えないのではないだろ うか。左手のパターンもいわゆる"ジャ ズ"らしくないし、何より、ハーモニ の中にテンションが含まれていない。ロ ックやポップスをジャズ化するとき、通 常は大幅にジャズらしくリハーモナイズ するものだが、この場合ほとんど原曲と おりのコードを使っている。 ジャズであ るにもかかわらずトライアド中心のコー ド・トーンのみに終始する、こんなとこ ろが逆に新世代ピアニストらしい大胆さ といえるかもしれない。実際それでもジ ヤズに聞こえてしまうのだが、Eからの アドリブで、8小節パターンのコード進 行を繰り返しながら、超絶テクニックと 情熱的なピアノ・タッチで次第に盛り上



アート・オブ・ザ・トリオ Vol.4:パック・アット・ザ・ヴァンカード」 ブラッド・メルドー ワーナーミュージック・ジャパン WPCR-10533 10月)4日発売

ズ。跳躍の多いフレイズや両手のコンビ ネーションなど難しいところも多いが、 頑張って練習してほしい。



EXIT MUSIC (FOR A FILM): Words & Music by Colin Greenwood, Jonathan Greenwood, Edward O'Brien,

® WARNER CHAPPELL MUSIC LTD.

All inable records.

© MAKNEK CHAFTELL MOGGETS. All rights reserved. Used by permission. Rights for Japan administered by WARNER/CHAPPELL MUSIC, JAPAN K.K., c/o NICHION, INC.

『エグジット・ミュージック(フォー・ア・フィルム)』 **EXIT MUSIC(For A Film)** played by B**RA**D MEHLDAU







2 2

e

「エグジット・ミュージック(フォー・ア・フィルム)」 **EXIT MUSIC(For A Film)** played by BRAD MEHLDAU



応募資 れた課

2000年冬の 見逃しなく!!





000

か?

東口



1960年代末、キース・ジャレット(p) やジャック・ディジョネット(ds)らを擁 したクァルテットで『フォレスト・フラ ワー」を発表し、大反響を呼んだテナー 奏者チャールス・ロイド。その後、一時

GEORGIA

チャールス・ロイド(ts) & ブラッド・メルドー(p)の名演 ジョージア・オン・マイ・マインド

-とピアノで演奏するバラッド奏法の極意を学ぼう

か隠遁を繰り返していたが、最近は ECMを舞台に精力的に活躍している。 そこで今月は、その彼の最新アルバムか ら「ジョージア・オン・マイ・マインド」 を取り上げ、共演するブラッド・メルド ーのピアノと共に採譜、掲載した。

さて、譜面を見てみよう。この曲は言 うまでもなくホーギー・カーマイケル作 曲の超行名スタンダードだが、イントロ はメルドーのピアノのソロ・ルバート で、4小節目からテンポを提示してい る。 5 小節目 3、4 拍のアッパー・スト ラクチャー・トライアドのサウンドをき っかけとして、 A からロイドおよびリズ ム隊が入ってテーマ演奏となる。ロイド は原曲のメロディをほとんどそのままス トレートに吹いているが、細かい装飾音

や、Aの11、13小節日、Bの4、6小節 目などの速い駆け上がりのパッセージが 情感を盛り上げている。メルドーの、テ ーマにおけるバッキングは簡潔にして必 要なところにはきちんと対応するツボを 心得たもので、ピアノのバッキングの参 考になるだろう。Bの6小節目3拍目か ら8小節目にかけての左手の一番下のラ インはガイド・トーンのスムーズな動き を意識したもので、サビの終わりからA メロのトニックに進行していく流れを牽 引している。コードのルートは、当然な がらベースに任せてピアノでは押さえて

テーマ後、ロイドはアドリブをとら ず、メルドーがCDと1コーラスのソ



「ザ・ウォーター・イズ・ワイド」 チャールス・ロイド ユニバーサル クラシックス&ジャズ UGCE-1601

手やDの1、2小節目の両手の動きな ど、耳に残るフレイジングがいろいろ繰 り広げられ、①の8小節目から10小節目 にかけてはアッパー・ストラクチャー・

トライアドとスリリングなリズムでテン

ション感の高いプレイを聴かせている。



シマイ・マインドリ EORGIA ON MY MIND played by CHARLES LLOYD(ts) & BRAD MEHLDAU(p)







アンコーシア・オン・マイ・マインド」

GEORGIA ON MY MIND played by CHARLES LLOYD(ts) & BRAD MEHLDAU(p)



ラッド・メ

深譜:鈴木典子(Seventh) 解説:石澤功治

ヴィレッジ・ヴァンガードにおけるライヴ録音作品から

若手ピアニストの中では人気・実 力共に抜きんでた存在のブラッド・ メルドー。その彼のアルバム『アー ト・オブ・ザ・トリオ』シリーズから、 今回は「ムーン・リヴァー」を取り上 げてみた。リリシズムと斬新さが見 事に融合した演奏から、彼のセンス の良さと抜群の表現力がわかるはず だ。なお、バラッドのためリズム(特 に右手のシングル・ライン)はかなり 感覚的に弾かれている。そのため、 譜面上表現しにくい部分はそれに近

い音価で記してあるので、実際の音 を確認して弾いてほしい。

テーマ部分はFメジャーのキーで 演奏される。風の4小節2~4拍目、 左手のトップ・ノートがクロマチッ クで上がってクリシェ・ラインを作 っている。圓の8小節3~4拍目、 本来BbM7のところをBb7にして、 ほんの少しブルージーな雰囲気を出 しているのはさすがだ。 ②からはア ドリブ・ソロでDメジャーに転調。 □の4~7小節目の右手のラインは

見事としか言いようがない。 図の7 ~8小節目はキース・ジャレットを 彷彿とさせるプレイ。本人がどうい う意図で右手のラインを弾いている かは各自研究してみてほしい。匠の 8小節3拍日、G7のテンション処理 にセンスの良さがうかがえる。

"MOON RIVER"

(from : BREAKFAST AT TIFFANY'S) Words by Johnny Mercer Music by Henry Mancini

© 1961 by FAMOUS MUSIC CORP. All rights reserved. Used by permission.

Authorised to NICHION, INC. for sale only in Japan.



収録アルバム 『アート・オブ・ザ・トリオ Vol.2: ライヴ・アット・ザ・ヴィレッジ・ ヴァンガード ブラッド・メルドー

(ワーナーミュージック WPCR-1836)

- ■収録曲■①イッツ・オールライト・ウ ィズ・ミー②ヤング・アンド・フーリッ シュ③モンクス・ドリーム④今宵の君は ⑤ムーン・リヴァー⑥カウントダウン
- ■パーソネル■ブラッド・メルド・ (p)、ラリー・グレナディア(b)、ホル へ・ロッシィ(ds)
- ■1997年7月29日~8月3日、ニュ ーヨーク ヴィレッジ・ヴァンガード ラ イヴ録音



BRAD MEHLDAU



MOON RIVER



1079) ニュー・ス /スタインの

ジャケット 3(**338**(2))。

メルドー作。 - ・ バーンス ベーカー(ds)

υνκτυ casean.

ン、ジョニ・ ー・スタンダ

ルチットで ト、ソプラノ トゥゲザー」

たる演奏を聴 ঠ|Another

界に送り出し ローズも弾い 当(李素(*)。

このアルバ

ックス奏者チ

・マクブライ アイ大作品。こ

・シスト、ジョ ス(ss)、ジョ

95年作品。

コンピレーショ 7年作品。

されている。

妻(その後、離 ブリック監督の る (事業①)。

技能作のサン まないる。

ーは、ニール・ に」を演奏して

)、[Joe Henry / It Cool](Warner ズブール主演)

BRAD MEHLDAU



k •/c3//4.99 (Sertone.(nc)

パラノイド・アンドロイド

ラッドが再び取り上げたレテ

ラッド・メルドーの開催ラーごから「バラ ド・アンドロイド」を取り上げてみた。この リスティックの様。レディネヘッドのナンバーで、ピラッドにもって「ソングをお放けが多く リットではエージェッ(フォー・ア・フェルム)」 に続いての数ちのがヴァーとなる。本件のプロデ (オンであることもあり)(学々 時に音楽を楽しかの情報心臓 、明まにとらわいず意奏する

ほとに一度も心を動かされたことが ズマンらしからぬきにをしているア この曲においても形式の動物を含む こインプロヴァイズしている点に

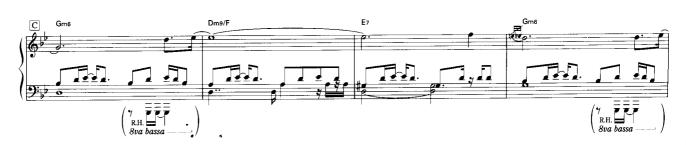
ックリするような









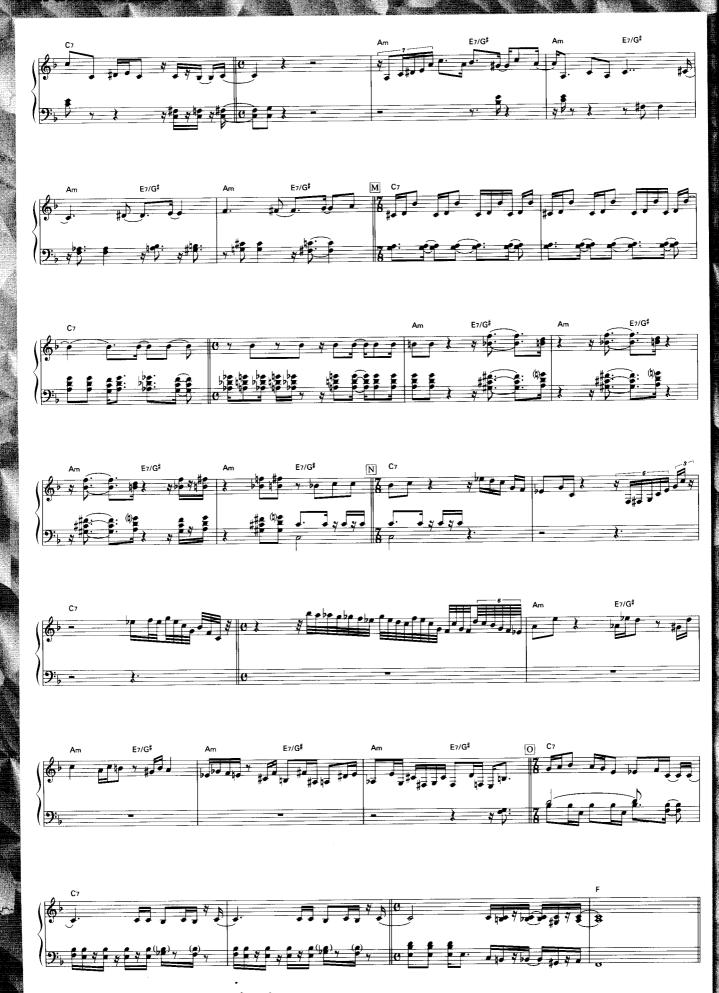


Words by Thomas Yorks, Edward O'Selen, Colin Green, Music by Thomas Yorks, Edward O'Srien, Colin Green, 1997 by WAISUER CHAPPEL MUSIC LTD. BUER CHAPPEL MUSIC LTD.

Print rights for Japan assigned to YAMAHA MUSIC FOUN







時の流れに

Still Crazy After All These Years

ポール・サイモンの代表曲をジャズ・ピアノで楽しむ!

ブラッド・メルドーの 2 年半振りのトリオ・シリーズ最新作『エニシング・ゴーズ』から「時の流れに」をお届けしよう。この曲は、ポール・サイモン(vo,g)が1975年にグラミー賞〈アルバム・オブ・ザ・イヤー〉を受賞したアルバム『時の流れに』からのタイトル曲で、ボール・サイモンの代表曲のひとつである。アート・オブ・ザ・トリオ・シリーズは、最新作で 8 作目となるだけに、斬新な選曲とアレンジに加えて"鍵盤の詩人"とも言われるブラッドを中心とした 3 人の新

たな世界が繰り広げられている。

今回取り上げた「時の流れに」はスローなバラッドであるが、驚くほどシンプルな演奏になっている。トリオでは和音を奏でる唯一の楽器がピアノであるだけに、どうしてもコード内の音数を増やしがちになるところだが、ブラッドは本当にエッセンスとなる音だけを選んでスッと浮き上がらせるように弾くことで、音数は少なくてもコード感を損なわず、より透明感の出る水彩画のような演奏になっている。

収録アルバム 『エニシング・ゴーズ』 ブラッド・メルドー・トリオ ワーナーミュージック・ジャパン (Warner Bros.) WPCR-11808



また、(Intro.1)の外声のラインや、随所に見られる内声の6度の動きなどからもブラッドが長年クラシックにも傾倒し、影響を自然に受けて来たということが、こうして譜面に起こしてみると手に取るように分かる。演奏する際にはメロディを歌い、引き立てることはもちろんだが、内声(特に6度)の響きなどの横の流れを意識し、コード・チェンジした際にも縦のラインが音数の少ない中でも聴く側にはっきりと分かるように心掛けてプレイするといいだろう。



Brad Mehldaü

Still Crazy After All These Years



動所に見られ が長年クランとということなる立てである。 はなどのランスはもないのイト

im g





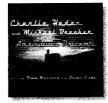
Brad Mehldau

Still Crazy After All These Years



ナー・サックスの名演 現代ラナーの頂点

マイケル・ブレッカーのロマンティックなメロディに酔う Michael Brecker with Brad Mehldau ゲ・アンド・フ



『アメリカン・ドリームス』 チャーリー・ヘイデン with マイケル・ブレッカー ニバーサル(Verve) UCCV-1035

「ヤング・アンド・フーリッシュ」は、昨年発売され 話題をさらったチャーリー・ヘイデン(b) with マイケ ル・ブレッカー(ts)名義の名盤『アメリカン・ドリーム ス』に収録されているスタンダード・ナンバー。

ベースとストリングス・オーケストラによるバース に続き、マイケルがテナーでしっとりとテーマを奏で ていく。ヘイデンの奏でる重厚なベースに、ブラッ ド・メルドー(p)の繊細なタッチのピアノが加わり、ロ マンティックな雰囲気を醸し出している。譜面はバー ス後のテーマ部。サックスはシンプルでありながら美 しい旋律をたっぷりと歌っている。ピアノはセンスの 良いヴォイシングに注目。ベース・ソロの後、ストリ ングスでのテーマのリフレインがあり、再度マイケル のテナーに受け継がれていく様はとてもドラマティッ クに演出されていて、聴き手の想像力をかき立てる。

この曲に限らず、このアルバムに収められたすべて の楽曲から、ヘイデンの各曲に対する特別な想いが伝 わってくる。「ジャズ・ミュージシャンとしてだけでな

く、"ミュージシャン"にならなければ、自分の音楽を 見つけることはできない」と学生たちに説くヘイデン に、美しい音楽を演奏したいという純粋な気持ちから 選ばれた曲たちはカテゴラリーにとらわれない創造力 を持っている。若い世代の中で光りを放つメルドーと ブライアン・ブレイド(ds)の好サポートを受けて、そ うしたヘイデンの音楽を、深い理解力と豊かな表現力 で盛り立てているのが、マイケル・ブレッカーのテナ ー・サックスなのだ。



マイケル・ブレッカー with ブラッド・メルドー



リームス』 ン with

UCCV-1035 けの音楽を くヘイデン 気持ちから ない創造力 メルドーと 受けて、そ

かな表現力

カーのテナ